

建設通信新聞

測量協会の品質管理優秀賞

受賞企業4社を表彰



日本測量協会関西支部は4日、大阪市の大阪キャッスルホテルで第21回「公共測量品質管理優秀賞」の表彰式を開いた。地図部門と基準点部門で優秀賞を受賞した4社に対し、同協会の村上真幸副会長から表彰状が贈られた。写真。

受賞した企業は基準点部門が進和測量設計、日豊調査設計、森本測量設計、地図部門が国際航業。表彰後、進和測

量設計の上寺準大阪支店長は「お互いの技術を共有し、品質管理に努めている。受賞は夢にも思わなかった」日豊調査設計の竹内隆社長は「さまざまな指導を受け、受賞できた。つらいことも多いが、受賞を励みに今後も研さんを続ける」と喜びを口にした。

森本測量設計の井上和也社長は「狙って簡単に受賞できるものではない。先代社長らの教えを引き継ぎ受賞できた」、国際航業関西事業所の政野敦臣執行役員事業統括本部地理空間ユニットリーダーも「測量や地理空間情報のデータは今後、重要性を増すだ

ろう。これからも品質向上に取り組みたい」とそれぞれ謝辞を述べた。

表彰は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（品質法）の施行に併せ、2005年に創設した。公共測量では、作業規定の準則に従い、一部測量成果は検定を受ける必要がある。24年度に同支部関係で測量成果の検定を受検した企業は、基準点が273社、地図が136社だった。

なお、表彰式の前には同支部の業務報告会と村上副会長による「測量近代化研究会での検討内容」と題した講演もあった。